

令和6年度全国学力・学習状況調査

# 小美玉市の分析結果と課題について



小美玉市教育委員会

## 令和6年度全国学力・学習状況調査について(概要)

### (1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 調査を対象とする児童生徒

【小学校調査】小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年

【中学校調査】中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年

### (3) 調査事項及び手法

#### ① 児童生徒に対する調査

##### ア 教科に関する調査

[小学校調査:国語及び算数 中学校調査:国語、数学]

\*1:身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

\*2:知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

##### イ 質問調査〔児童質問調査、生徒質問調査〕

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査をICT端末を用いたオンラインによる回答方式で実施。

#### ② 学校に対する質問調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査をオンラインによる回答方式で実施。

### (4) 調査の方式

悉皆調査(全員対象)

### (5) 調査実施日等

令和6年4月18日(木)。ただし、質問調査については、4月10日(水)から4月30日(火)までの間で、各学校の状況に応じて適切に実施。

#### 調査結果の分析と改善について

本市児童生徒の学力や学習状況について、成果が見られるところと課題が見られるところについて、その一部を本冊子にまとめています。

課題が見られるところについては、小美玉市学力向上対策委員会で作成した「令和6年度学習指導の改善と充実に向けて」を市内小中義務教育学校の全職員に配布し、それに基づき、指導にあたっています。

例えば、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することや、問題解決の方法を数学的に説明すること、主体的な学習への取組などが身に付くよう、授業改善を図ります。

なお、調査結果については、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどに留意が必要です。

# 令和6年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状（成果と課題）」

## 【小学校・国語】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容（成果と課題）

内容	設問番号	設問の概要（趣旨）
知識・技能	1二 (1)	オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する（話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる）
話すこと・聞くこと	1二 (2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する（資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる）
書くこと	2二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして○書く（目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる）
読むこと	3二 (2)	【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する（人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる）
読むこと	3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く（人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる）
知識・技能	3四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する（日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる）

## 【中学校・国語】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容（成果と課題）

領域	設問番号	設問の概要（趣旨）
話すこと・聞くこと	1一	○話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する（必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる）
話すこと・聞くこと	1二	○話し合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む（資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみる）
知識・技能	1三	○話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する（意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる）
話すこと・聞くこと	1四	▲話し合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く（話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる）
書くこと	3四	▲表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する（表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる）
読むこと	4二	▲短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える（短歌の内容について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる）

# 令和6年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状（成果と課題）」

## 【小学校・算数】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容（成果と課題）

領域	設問番号	設問の概要（趣旨）
数と計算	1(1)	▲ 問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ（問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる）
数と計算	2(1)	○ $350 \times 2 = 700$ であることを基に、 $350 \times 16$ の積の求め方と答えを書く（計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる）
図形	3(3)	▲ 直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く（球の直径の長ささと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる）
図形	3(4)	○ 五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く（角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる）
変化と関係	4(3)	▲ 家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く（道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる）
変化と関係	4(4)	▲ 家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く（速さの意味について理解しているかどうかをみる）

## 【中学校・数学】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容（成果と課題）

領域	設問番号	設問の概要（趣旨）
数と式	1	▲ $n$ を整数とするとき、連続する二つの偶数を、それぞれ $n$ を用いた式で表す（連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる）
数と式	6(2)	▲ 正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する（目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる）
関数	8(1)	○ ストープの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ（二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうかをみる）
関数	8(2)	▲ 18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する（事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる）
関数	8(3)	○ 結衣さんがかいたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストーブの設定の組み合わせとその使用時間を書く（グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる）
図形	9(1)	▲ 点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する（筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる）

令和6年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状（結果と課題）」  
【児童生徒質問調査】

	番号	【 】…質問内容 ※…結果 *…対策
自己肯定感	児童 9 10 生徒 9 10	<p>【自分には、よいところがあると思いますか】 ※「当てはまる」と答えた児童が34.8%、生徒が34.1%で、国と比較すると小学校で8%程度、中学校で6%程度下回りました。</p> <p>【先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか】 ※「当てはまる」と答えた児童が39.3%、生徒が36.8%で、国と比較すると小学校で9%程度、中学校で7%程度下回りました。</p> <p>*児童生徒が自己肯定感を高めるためには、自己理解や自己受容を進めるとともに、様々な体験を通して成就感や達成感を味わったり、他者から認められたりして、自分への肯定的な気付きを促すことが重要であると考えます。自己理解や自己受容を進めるために、児童生徒が自分を見つめる場や機会を設定することや、児童生徒が自分の短所を受容し、その短所の見方を変えると長所になるという「リフレーミング」の考えを生かせるようにするなど、指導をしていきます。</p>
表現活動	児童 29 生徒 29	<p>【5年生までに(1,2年生のときに)受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか】 ※「発表していた」と答えた児童が19.1%、生徒が16.6%で、国と比較すると小学校で6%程度、中学校で5%程度下回りました。</p> <p>*児童生徒が自分の考えを自分の言葉で表現できるように、学習する目的意識をもたせることやグッドモデルの提示、活動時間の確保が必要であると考えます。授業で「複数の資料を比較し、それぞれの特徴や良さを検討する活動」や「問いかけや伝わりやすい表現、話す順序などの工夫について検討する活動」などの話し合い活動を取り入れることで、児童生徒が自ら選択したり、試行錯誤したりしながら、工夫の仕方を考えることに繋がる指導をしていきます。</p>
主体的な学習	児童 30 生徒 30	<p>【5年生までに(1,2年生のときに)受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか】 ※「当てはまる」と肯定的に回答した児童は25.1%、生徒は23.0%であり、県平均と比べると約5%程度低い傾向となっています。</p> <p>*児童生徒が課題の解決に向けて、意欲をもって取り組むとともに、自分で考え取り組んでいると実感できる授業を展開するために、児童生徒の「わくわく」が連続し、「分かった」「できた」「もっとやってみよう」という実感が生まれる授業を目指す事が大切であると考えます。児童生徒の学びに対する知的好奇心や興味・関心等が連続し、学んだことを次の学習や実生活に生かそうとする姿が生まれるように、単元をデザインしていきます。</p>